

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第3回霧島警察署協議会
会 議 日 時	令和8年1月30日（金曜日） 午後3時から午後5時まで
会 議 場 所	霧島警察署大会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 13人 2 警察署 署長以下 12人
<p>1 会議の概要</p> <p>(1) 会長挨拶</p> <p>(2) 署長挨拶</p> <p>(3) 協議</p> <p>ア 警察署業務説明</p> <p>イ 委員からの意見・要望等に対する回答</p> <p>ウ 諮問・答申（高齢者交通事故抑止対策）</p> <p>エ 次回開催日の日程協議</p> <p>(4) 警察活動視察</p> <p>2 警察署業務説明</p> <p>令和7年度第2回協議会以降の業務について説明</p> <p>(委員) 相談件数が、前年と比較して1,000件増えているとのことであるが、対応人数の増員などあるのか。</p> <p>(回答) 相談係は、昨年9月の人事異動で1人増員しており、他課、交番、駐在所で受理した件数も含めている。</p> <p>3 委員からの意見・要望等に対する回答</p> <p>(委員) 鹿児島県の警察官志願者数の動向について</p> <p>鹿児島県警で、志願者数を増やす工夫をしているのか。</p> <p>(回答) 募集活動に関しては、県警ホームページ、YouTube等のSNSを利用した広報や県が主催する就職フェアでの出展、全国警察合同WEBセミナーへの出演などを行っている。</p> <p>受験資格等に関しても緩和している。</p> <p>令和8年3月には、SPI採用試験を実施するが、同試験は、能力検査や性格検査を実施し、仕事への適性を見るための総合的な試験であるため、従来型の公務員試験対策が不要となり、民間志向の方も受験しやすくなる。</p> <p>(委員) SPI試験については、今後、弊害が出てくる可能性もあるが、検証する予定があるか。</p> <p>(回答) 本部の採用係に確認して回答する。</p> <p>4 諮問・答申</p> <p>(1) 諮問</p> <p>高齢者交通事故抑止対策</p> <p>委員に対し、高齢者交通事故の現状について説明。</p> <p>(2) 答申</p> <p>(委員) ブレーキとアクセルの踏み間違えが、事故の原因として多いと聞くが、オートマチック車ではなく、マニュアル車を運転した方が踏み間違えが減るのではないかとと思われる。</p> <p>(委員) 住んでいる地区で、交通安全協会の方に来てもらって交通安全教室を開催してもらっているが、警察官が実施する方が、高齢者にはより強い意味合いで理解してもらえるのではないかと考える。</p>	

(委員) 免許証返納をした場合の生活保障、交通機関の保障などが心配の一つであることから、市役所や福祉関係、交通機関関係と警察の連携など社会の取組は必要であると思う。

(委員) 高齢者による運転チャレンジテクニック大会を実施してはどうか。自分の技術を知り、衰えを意識することが出来るのではないか。

(委員) 高齢者は、大きな会場が苦手であるため、集落単位で教養を受けた方が、知識が身につくのではないかと思う。

(委員) 若者も興味を示すような反射材を開発できないか。

5 次回の警察署協議会日程

6 警察活動視察
逮捕術訓練を視察。

備考	
----	--